

国語学習プリント

date: 年 月 日

学習内容:

初恋

氏名

年 組 番



初恋

島崎 藤村

まだあげ初めし前髪の
林檎のもとに見えしとき
前にさしたる花櫛の
林檎のもとに見えしとき
まだあげ初めし前髪の
林檎のもとに見えしとき
花ある君と思ひけり
やさしく白き手をのべて
林檎をわれにあたへしは
薄紅の秋の実に
人へひ初めしはじめなり
わがこころなきためいきの
その髪の毛にかかるとき
たのしき恋の盃を
君が情に酌みしかな

◎(一)の詩の形式は
文語定型詩(七五調) 四連構成

▽ まだあげ初めし前髪とは
結いあげたばかりの髪
少女から娘となつて
大人っぽくなつた初々しい様子

△ 当時(明治のころ)女子は十三~十五歳になると髪あげ(髪結い)をして、大人の女性となる成人式のよくな儀式、男子でいうところのは元服にあたるもの

▽ おのづからなる とはどういう意味か
恋の様子を酒に酔う様子にかけた
酒祝い酒 晩酌 酔う(恋に酔う)など

▽ たのしき恋の盃を/君が情に酌みしかな
とは、恋の情況を何の様子にかけて表現しているか

▽ おのづからなる とはどういう意味か
自然にできた いつのまにかできた
おのづ=自ず

▽ 花櫛とは
花のよくな飾りをほどこした髪飾り
花かんざし

▽ 花ある君とは
花のように美しい

▽ 薄紅の秋の実とは

①何のこと=林檎

▽ 詩の構成 連の内容を選べ
第一連(エ) 第二連(イ) 第三連(ウ) 第四連(エ)
△ 二人の恋が通じ合った喜び
△ 少女に対する恋心の芽生え
△ 二人の愛とその深さの証明
△ 少女との出会いとその印象

②どんなイメージのつながりがあるか
初々しさ まだ青みが残る未熟さ
すっぱさ 新鮮さ など

▽ こひしきた
の「こひしき」とはどのような意味か
思わずついたため息

▽ 誰か踏みそめしかたみとは
訳してみよう
※「かたみ」とはなにかを想像するとわかるよ
かたみ=なごり(あとにのこされたもの)
誰か踏みはじめてできたあと(痕跡)

▽ 係り結びをひきおこす助詞と、それを
うけ、変化した語を書きなさい。
ひきおこした助詞=こそ
変化した語=こそ
△ こひしきれ
(形容詞「こひし」の已然形)